



# 瓦版

vol.57

ご挨拶  
各現場から  
最近のお引渡し現場  
雑感  
40代からの子育て  
懐古

近庄グループ  
株式会社 山庄

## ご挨拶

宮川浩一

本年も早くも年末となりました。あつという間の一年であり、瓦版も本年最終版となりました。本号も含め本年一年お付き合いいただきました皆様にご心より感謝しますと共に、厚く御礼申し上げます。

月並みですが皆様にとりまして、本年は果たしてどのような一年でしたでしょうか。厳しい環境の中、努力に次ぐ努力で乗り越えられた一年、調子よく順調に過ごされた一年、喜びのなかで…。悲しみの中で…。様々な一年が間もなく終わろうとしています。瞬く間に過去のものとなる訳です。

そこで大切な事は、済んだ事は置いておいて、これからやってくる来年がどんな一年になるのか、どんな一年にするのか、です。過去に過ぎ去った事を引きずっても仕方ないですし、マスコミの悲しい来年の経済予想に振り回されても何も前に進むわけでもないです。では、どんな明るい来年を創っていきましようか。なにか良いおまじないでもないでしょうか。

最近テレビや著書に活躍の、脳化学者 茂木健一郎氏は皆様もよくご存知だと思います。彼が番組の中で話していた中で、「人間は本来ネガティブに考える生き物である」と提言していた事が心に留まりました。

要するに「本来マイナス思考」だという事です。

原始時代、人間はその辺の動物同様草原で寝、日が昇ると狩をし、結果獲物を捕らえる

と皆で食し生き長らえる時代、そこでは単なる動物の一種類でしかなかったわけです。

単なる動物連鎖の一員である以上少しでも気を許すと、直にライオンの餌になってしまいます。「何とかなるさ」なんて気楽な事を言っている人(動物?)は、あくる日には餌になってしまい、いなくなる訳です。ですから、いつもネガティブに最悪の状態を想像し、餌にならないように緊張し、びくびく生きる必要があったわけです。

そんな原始人から受け継いだDNAをもった生き物が現在の「人間」である限り、当然本質はネガティブ、つまりマイナス思考なのです。

そこで前述の話に戻り、明るい来年を作るおまじないについてです。茂木氏訳の著書の中で面白いおまじないのような「間いかけ」がありました。

先ず、前提として先ほどの「人間はネガティブ(マイナス思考)だ」という事と「とても曖昧な思考である」という事を認識します。その上で、日常で何か自分に嫌な事、気持ち悪いことが起こったら、次の4つの質問を試みるのです。

1. それは真実ですか？
2. それが真実だと言い切れますか？
3. それを信じている時、私(自分)はどんな反応をしますか？
4. それを信じなければ私(自分)はどんな人間になれますか？

例えば「娘が私を避けており、どうも私が嫌いなようだ」という事を感じたとします。

1. それは真実ですか？
2. それが真実だと言い切れますか？

本人に聞いた訳ではないので言い切れません。

3. それを信じている時、私(自分)はどんな反応をしますか？  
そんな態度をとる娘を批判しています。気持ちは優れません。はっきりさせたいと思います。
4. それを信じなければ私(自分)はどんな人間になれますか？  
もっと優しくなれます。無理なく声をかけ、穏やかに接し、成長を喜び…。

例えば「部下が言う事を聞かない。やる気無いようだ」という事を感じたとします。

1. それは真実ですか？  
多分そうだと思います。
2. それが真実だと言い切れますか？  
証拠が無いので言い切れません。
3. それを信じている時、私(自分)はどんな反応をしますか？  
部下を批判します。罰を考えます。同時に立ち直る為の方法も考えます。
4. それを信じなければ私(自分)はどんな人間になれますか？  
ホッとします。開放されます。そして優しく接しられ、まず部下に声をかけてみます。

以上の例題をみて、何かお感じになれますでしょうか。茂木氏曰く、人間の日常の「思い込み」や「錯覚」は相当なもので、これに振り回されているのです。逆に考えれば、この「思い込み」や「錯覚」を意図的に排除できれば、相当楽になり前向きになれるようです。その方法が4.の質問です。前向きになるとエネルギーが沸き、行動的

## 各現場から —現場監督の声—

### 2008 総括

「喜怒哀楽」昔から日常よく使われる熟語ですが、自分自身、これほど良くこの言葉が当てはまった1年は過去になかったのでは？ いや、ここ数年は確かになかったと思います。

良いも悪いも季節が変わるように、人は目を開け、呼吸をし、声を出し、前に進めば、目をそむけ、息を殺し、貝になり、後ろを振り返る。何か、1日、いや数時間の間に上へ行ったり下へ行ったり右往左往。

自分の物差しの短さ、詰めの甘さに「怒」を覚え、ひとつ前にあった「喜」が一瞬の内に消え去ってしまい、愚かさに「哀」を感じ、後に来る「楽」がまた遠い所に行ってしまう。そんな、反省ばかりの1年でした。

しかし、2009年は、この経験を真摯に受け止め「喜」が「怒」を打ち消し、「哀」を「楽」が追い払う1年の為に「地力」を養っていきたいと思います。

この1年間お世話になり有難うございました。

今後ともご指導、ご鞭撻宜しくお願い致します。

榎田 勉

### ～今年を振り返って～

今年を振り返ってみると「反省」する場面が多かったように思います。特にお客様の工事に対する「満足度」という点で逆に「不満・不安」を与えてしまった現場があったことです。満足してもらえた現場がたくさんあったとしても、ひとつでも不満・不安を与えてしまう現場があってはいけないと思います。

特に私達の仕事は、衣食住のひとつの住に関わることなので、金額も大きく、不安・心配に思われる方が多いと思います。その不安や心配を少しでも安心に変えていかなくてはならない自分が不安にさせたまま終わってしまった、というのが一番反省するところです。

こういう言い方は良くないかもしれませんが、いい勉強をさせていただきました。よく人は失敗から学ぶといいますが、その通りだと思いました。自分を見つめ直して、反省するところは反省し、次に活かす。当たり前のことかもしれませんが、あらためて考えさせられた現場でした。

やはり、満足していただけた現場は、お客様も自分自身も気持ちがいいです。完成した時に「ありがとう」と言っていただけることが何よりも嬉しいことです。この言葉を言ってもらえるように、ひとりひとりのお客様、ひとつひとつの現場を大切にしていきたいと思っています。

今年も残りわずかですが、皆様にとって良い年末年始でありますように願っております。今年一年たくさんの方にお世話になりました。ありがとうございました。来年もぜひよろしく願いいたします。

小西 達也

## 「最近のお引渡し現場」

S様邸新築工事 京都市左京区 平成20年12月お引渡し

# 瓦版

企画及び発行所  
**近庄グループ**  
**株式会社 山庄**  
〒604-8811  
京都市中京区壬生賀陽御所町77-1 山庄ビル2F  
TEL 075-813-5800  
FAX 075-811-5550  
E-mail office@yamasyo.net  
URL http://www.yamasyo.net

## 希望のお客様は!!

デザイン無料キャンペーン及び設計・現地見学会 ご希望の方は下記アンケートにお答え頂いた上、FAXにてご返送下さい。

氏名: \_\_\_\_\_

住所: \_\_\_\_\_

TEL: \_\_\_\_\_

FAX: \_\_\_\_\_

### ご希望の内容

①設計・デザイン無料キャンペーン

②新築物件現地見学会

**株式会社 山庄**  
TEL: 075-813-5800(代)  
FAX: 075-811-5550

★ アンケートにお答えいただいた方には、この情報誌を毎月郵送致します。

氏名 \_\_\_\_\_

性別 \_\_\_\_\_

生年月日 \_\_\_\_\_

住所 \_\_\_\_\_

TEL \_\_\_\_\_

FAX \_\_\_\_\_

メールアドレス \_\_\_\_\_

職業 \_\_\_\_\_

★ 今後、あなたの知り得たい情報は何ですか？

1. 建築(住宅)に関する情報

2. 建築(インテリアデザイン)に関する情報

3. 外食に関する情報

・和食

・洋食

・中華

・その他( )

4. 文化、歴史に関する情報

5. その他 ( )

**株式会社 山庄**  
TEL: 075-813-5800(代)  
FAX: 075-811-5550

# 雑感

## 山内 庄一郎

旧暦は太陰太陽暦。太陰は月。月と太陽の運行日数両方を取り入れた暦が太陰太陽暦。地球が太陽を一周するのに約365日かかり、これを12で分けると1ヶ月は約30.5日。だから太陽暦の1ヶ月は30日か31日。

また月が地球を一周するのに約29.5日かかり、月の1ヶ月は29日か30日。12ヶ月分を加えると太陽暦の1年は約354日。太陽暦の1年と太陰暦の1年には11日の差がうまれてしまう。この差11日は3年経つと33日になり丸一ヶ月を越えてしまい、これが15年経つと正月が夏になってしまう。この3年分のズレを閏月という1ヶ月にして、その1年を13ヶ月の閏年にしたのが太陰太陽暦。閏年は19年に7回ある。

太陽暦よりかなり複雑ではあるが、そもそも太陽暦はキリスト教徒のためにその祭を年間一定時期に定められるよう工夫されたもので、キリスト教徒以外やわれわれ東アジアに住まうものの季節感には合う筈もないもの。

旧暦はAC604年中国から伝来し、改暦を重ね天保暦に。4千年前に中国で独自につくられ、農暦と呼ばれ今も中華文化圏の人々の生活規範となっている。農暦故に、動植

物のバイオリズムに多大の影響を及ぼす月の満ち欠けを無視した太陽だけの暦では農暦にはならないことは自明の理。

ではその旧暦を実社会にどう活かすか。まずはその年が暖冬なのか酷暑なのか、平年並みなのか不順なのか。これは閏月の入り方で予測出来る。

現在の暦では4年に1度、2月が1日多く、1年366日になる。旧暦では平均2年7ヶ月に1度、1年が13ヶ月となる。平均354日の1年が閏年になると1年が385日なる。例えば閏5月があるなら長雨で夏が長くなり、閏3月があれば夏の訪れが遅れ、作物の育成は例年より遅くなるといった按排。年間の天気予測は衣料品メーカーや空調機関係、飲料メーカーにとっては重大情報となる。

また衣替えや冷暖房機器入替は毎年カレンダー通りではなく、これが旧暦なら正しく設定することが出来る。今の衣替えは6月1日と10月1日ごろ。旧暦では4月1日と9月1日。今の暦とただズレているだけではなく毎年変わるもの。旧暦での衣替えは本当の季節変化に不思議とピッタリと合う。

それと旧暦なら食べ物の旬がわかる。温室栽培、促成栽培では旬がわからないばかりか、栄養素も1／3程度になってしまう。旧暦では月の満ち欠けが一目瞭然で、釣り人にとっては大変重宝する。旧暦各月の1日は必ず閏夜。15・16日が満月。8日と23日は半月。月の姿を見れば旧暦の日付と潮の大小がわかる。

今年も旧暦カレンダーを買い求め、その旧暦カレンダーがいうところの来年をお知らせ致します。

2009年度は一年13ヶ月、閏5月が入ります。

○概況：四季偏超（年央より気候あるる）

○四季の区分

	旧暦	新暦換算	実際には新暦の
春	1月～3月	1月26日～ 4月24日	2月25日頃から
夏	4月～6月	4月25日～ 8月19日	5月24日頃から
秋	7月～9月	8月20日～11月16日	9月19日頃から
冬	10月～12月	11月17日～ 2月13日	12月16日頃から

○旧暦遵守の五節句と中秋の名月

	七草	雛祭	端午	七夕	重陽	中秋名月
	旧1月7日	旧3月3日	旧5月5日	旧7月7日	旧9月9日	旧8月15日
2009年	2月 1日	3月29日	5月28日	8月26日	10月26日	10月 3日
☆	2009年は閏5月が入り1年13ヶ月384日。夏が4月、5月、閏5月、6月。					

○四季の見通しと主な年中行事

[春] 早春看華（余寒少なく華やかな春）

[夏] 微雨永魃（炎早と大風の長い夏）

[秋] 秋声晩霜（残暑強くすっきりとしない秋）

[冬] 東風梅雪（到来早く暖冬気配の濃い冬）

	年中行事	旧暦の日付	2009年
春	春節（旧正月）	1月 1日	1月26日
	東大寺お水取り	2月1日～14日	2月25日～3月10日
夏	灌仏会	4月 8日	5月 2日
	両国川開	5月28日	6月20日
	大坂天神祭	6月25日	8月15日
秋	盂蘭盆会	7月15日	9月 3日
	十三夜（粟名月）	9月13日	10月30日
冬	誓文払い	10月20日	12月 6日
	七五三	11月15日	12月30日
	義士討ち入り	12月14日	2010年1月28日

てきただけに、門の前に無造作に散らかる植木鉢や薄汚れた廊下に驚いた。ダンボールに囲まれた狭い部屋の中では、「隣の人はめっちゃ文句つけはるでー。」と嘆いてもいた。

その上仮住まいで洗濯機もなく、近くのクリーニング屋さんまで、大きな袋に詰め込んだ洗濯物を運ぶ息子に付いて行くと、そのおばさんと顔見知りになっていたらしく、「いつもサービスしてくれはんねん。」と何やら楽しそうに世間話をしていたが、日々の不便な生活が垣間見え「仮住まいやからなー。」と微笑む息子がやけに不憚に思えたりもした。

そんな下宿もアメリカに発つ前に整理したので、最後の週は友人の家で過ごし半月半ばに日本に帰ってきた。息子と時を同じく長かったイギリス生活に別れを告げる日本の友人も多く、院の卒業と同時に皆其々の春を迎えた。

「お兄ちゃんの荷物イギリスの匂いするなー。」梱包を解き息子の荷物を整理する私の横で、荷解きを手伝いながら娘が言う。船便で運ばれた多くのダンボールを解きながら、見覚えのある品々が日本の空気に同化していく様を、嬉しいような寂しいような、ちょっと複雑な思いで整理した



（完）

○「旬」「開花」「釣」

旧 暦	新 暦	旬	開 花	釣
睦月	1月26日～2月24日	ハッサク、クワイ、里芋、白魚、大根	紅梅、あんず、猫柳、雪柳、雪割草	ハヤ、ハタ、サヨリ、ヤリイカ、ウミタナゴ
如月	2月25日～3月26日	ウド、ほうれん草、生しいたけ、シジミ、ブリ	菜の花、沈丁花、木蓮、桜、アネモネ	サワ、メジマグロ、マス、メバル、タコ
弥生	3月27日～4月24日	からし菜、コゴミ、桜鯛トビウオ、桜エビ	たちばな、桃、山吹、レンゲ、タンポポ	イワナ、ヘラブナ、モロコ、シロギス、カレイ
卯月	4月25日～5月23日	タケノコ、そらまめ、カツオ、アサリ、グチ	カーネーション、牡丹、シャクナゲ、アヤメ、藤	ヤマメ、ヒラメ、黒鯛、アナゴ、カワハギ
皐月	5月24日～6月22日	じゃがいも、さくらんぼ、イサギ、舌平目、びわ	あじさい、撫子、さつき、紅花、クチナシ	鮎、ヘラブナ、コチ、イサギ、ムロアジ
閏皐月	6月23日～7月21日	トマト、さやいんげん、枝豆、スルメイカ、サザエ	朝顔、蓮、夾竹桃、ユリ、花菖蒲	ウナギ、アナゴ、スズキアオギス、小アジ
水無月	7月22日～8月19日	みょうが、カボチャ、モモ、キュウリ、スイカ	ひまわり、ホウセンカ、キキョウ、スイレン、萩	キハダマグロ、スズキ、アジ、サバ、スマイカ
文月	8月20日～9月18日	ナシ、ぶどう、サンマ、しその実、シジミ	夕顔、ほおづき、ひなげし、月見草、コスモス	ハゼ、フッコ、カマス、セイゴ、サバ
葉月	9月19日～10月17日	りんご、クリ、まつたけ、アジ、キス	金木犀、萩、ケイトウ、ダリア、カンナ	ハタ、イイダコ、石鯛、カマス、イシモチ
長月	10月18日～11月16日	ホッケ、山芋、柿、カマス、さつまいも	菊、サザンカ、オモト、ホトギス、りんどう	アイナメ、メイチダイ、コイ、メジナ
神無月	11月17日～12月15日	白菜、銀杏、ゆず、サケ、鴨	せんりょう、南天、蘭、シクラメン、フリージア	フグ、ボラ、フダイ、タナゴ、タラ
霜月	12月16日～1月14日	カブラ、カキ、れんこん、アンコウ、ナマコ	葉牡丹、万両、寒菊、ボケ、水仙	寒ブナ、モロコ、カレイ、ブリ、スマイカ
師走	1月15日～2月13日	わさび、ダイコン、ウニ、温州みかん、イセエビ	梅、雪割草、寒椿、福寿草、ネコヤナギ	石鯛、タナゴ、ボラ、ワカサギ

○新暦2009年の満月（月齢基準）

2009年	1月11日、2月9日、3月11日、4月9日、5月9日、6月8日7月7日、8月6日、9月5日、10月4日、11月3日、12月2日
-------	---

## 懐古

### 山内 徳三郎

私の心から崇敬する良寛さまのお歌に

“ 木や籠らん水や吸まんときすたけの我が身一つを定めかねつも ”

この山（国上山五合庵のあるところ）で御飯をつくるため木を集めて来なくてはなるまい、水も吸んで来なくてはなるまい。

この現身（さすたけ）の、さても我が身一つを定めるのを決めかねているご心境である。毎日のことである。

小生加齢とともにわかる心境である。

この薪水の労が辛らくようよう耐えられなくなつて、同じく越後国（今の新潟県ご生国、ご生涯の大部分）を過ぎられた三島郡島崎の素封家木村元右衛門さまの家の離れに招かれ、遂にご晩年を迎えられました。

小生かつて一人で越後国の良寛さまのところを旅したとき、右木村様のお宅庄屋さまを訪問し、親しく奥様とお会いして、

お物語りを致し真頼しうございました。

偶々小家と同じ浄土真宗西本願寺派のお宅にて

ご面語を得たことを懐かしく想起します。

良寛さまがお好きであつたお言葉にあつた

「白雪コウに然ずやもで」

京都のお土産として五色豆を進上したところ大変よろこばれ“ 晩年の良寛さま ”のご本一本呈上のご殊遇に浴しました。

良寛さまのお歌に

“ 良寛に辭せあるかと人間えば南無阿弥陀佛というと答えよ ”で愛惜切りである。

## 40代からの子育て

### 山内 早苗

「お兄ちゃん起こしてきて。」と言うと「あーあ、もう仕方がないなあー。彩でも自分でおきんのに一。」ぶつぶつと二階へ上がって行ったかと思えば、「あかーん。もう無理ー。」とケタケタ笑いながら娘は階段を駆け下りて来る。「仕方ないなー。昨日も遅かったし、もう少し寝かしてあげよか。」と私。「あつまー。朝は全員一緒って言うてるやる。」横で新聞を読みながら今度は主人がぶつぶつと呟く。朝七時。近頃の我が家の朝食風景である。

「僕、自分が本当にしたい事がわかった。」息子の唐突発言から二ヶ月余り。ビジネススーツに身を包み、朝の冷気に自転車漕ぎ出す息子の後姿を見送りながら、中学校の制服を着て「いってきますーす。」と手を振った11年前のきゃしゃな息子がオーバーラップする。皆が寝静まった夜更け、ホッとくつろぎながらテレビを見ている息子に、「また徳ちゃんとかんなして一緒に生活する日が来るなんてママうれしいけど、こんなに早く来ると思わへんかったわー。」と話すと「僕もイギリスでの生活が夢のようや。」と息子が呟いた。

「僕の使命はこんな素晴らしい日本の美術品を世界に広める事やって、今回のザルツブ